

県民あんしん共同太陽光発電事業 設置施設 担当者の声

30年後の地球環境と
地域の方の
安心のために



社会福祉法人 若あゆの会
グループホーム若あゆ（共同生活援助）
深谷市
太陽光発電設備等の設置日 2022年2月

Q 施設の概要を教えてください。

A 当施設は、2015年4月開所の共同生活援助事業所で定員は10名です。重い障害のある方が自立し、生まれ育った地域において、日常生活又は社会生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介助、相談その他の生活上の援助を行っています。

Q 県民あんしん共同太陽光発電事業に応募したきっかけを教えてください。

A 施設のエネルギーは、お風呂以外は電気で賄っており、停電等の有事に備えて電源は確保したいと考えていました。当初、自家発電設備の設置を検討していましたが、設置費用が高額となることから、設置を見送ることとなりました。そこで、太陽光発電設備はどうかと検討していたところ、県の補助事業があることを知り、設置することを決めました。



秋山 亮 理事長

Q これから太陽光発電設備と蓄電池をどのように活用されていきますか。

A 太陽光で発電した電気は、まず、災害が起きた時のために蓄電します。蓄電されていれば、自家消費しています。

災害時には、利用者の安全を確保した上で、地域の方に施設へ来てもらい、太陽光で発電した電気によりキッチンのIH設備や電気ポットなどを利用してもらいたいと考えています。

Q 災害時に施設を開放することに不安はありませんか。

A 利用者に帰宅してもらってから施設を開放することにしていますし、貴重品はロッカーに入れて施錠しているため、不安はありません。もし自分が被災したらきっと不安に感じると思いますが、頼りになる施設があれば安心です。自分たちが安心を提供できる施設になれることを誇りに思います。

また、普段から地域の方々にはお世話になっている為、災害時には地域の役に立てることを嬉しく感じています。

Q 設置を考えている施設の方へメッセージがあればお願いします。

A 大学生くらいの若い世代が将来の地球環境のことをとても真剣に考えていることを知りました。このままでは30年後の地球環境は大変なことになってしまいます。地球温暖化防止に貢献したいという強い思いを持っています。みなさんにも是非真剣に考えてもらいたいと思っています。

実際に太陽光発電設備と蓄電池を利用してみると、電気代はかなり安くなり経費の節減にもなっています。是非補助金を利用して、導入していただきたいと思っています。



太陽光パネル（補助対象設備）



蓄電池（補助対象設備）